

市史編さん委員

委員長

- 栄原永遠男 大阪市立大学名誉教授
- 中塚 明 奈良女子大学名誉教授
- 服部 敬 花園大学名誉教授
- 神山 登 元大阪市立美術館館長
- 日下雅義 立命館大学名誉教授
- 田中久夫 神戸女子大学名誉教授
- 勝部明生 元龍谷大学教授
- 広川禎秀 大阪市立大学名誉教授
- 泉森 皎 龍谷大学講師
- 豊田兼典 元大阪府立富田林高等学校校長
- 金田章裕 人間文化研究機構構成員
- 藪田 貫 関西大学教授
- 谷 直樹 大阪市立大学大学院教授
- 小嶋博巳 ノートルダム清心女子大学教授
- 村田路人 大阪大学大学院教授
- 原田正俊 関西大学教授

既刊

- 第二巻 史料編 古代・中世……………(第3回配本) 五、〇〇〇円
- 第三巻 史料編 近世……………(第6回配本) 五、〇〇〇円
- 第四巻 史料編 近現代……………(第7回配本) 五、〇〇〇円
- 第五巻 史料編 狭山池……………(第4回配本) 五、〇〇〇円
- 第七巻 別巻 石造物編……………(第5回配本) 五、〇〇〇円
- 第九巻 別巻 民俗編……………(第1回配本) 五、〇〇〇円
- 第十二巻 別巻 地名編……………(第2回配本) 五、〇〇〇円

続刊

第一巻 本文編 通史……………(第8回配本予定)

●申し込み方法

大阪狭山市史編さん所(旧郷土資料館)と大阪狭山市教育委員会 社会教育・スポーツ振興グループ(市役所3階)で販売します。

郵送を希望される場合は、大阪狭山市史編さん所までお問い合わせください。

●お問い合わせ先

〒589-1002 大阪狭山市今熊1丁目94-1
 大阪狭山市史編さん所(旧郷土資料館)
 電話 072-1367-11070
 FAX 072-1367-11070

5千人の農村から5万人の「田園都市」へ
 明治以来120年、狭山に生きた人びとの歩みを
 多様な史料をもとに丹念に跡づける

『大阪狭山市史』史料編 近現代 ついに刊行!!



大阪狭山市史

第七回配本

第四巻 史料編 近現代



町制施行祝賀記念アーチ 昭和26年(1951)



市制施行記念テープカット 昭和62年(1987)10月1日



狭山ニュータウンの第4期造成工事(東側上空から撮影) 昭和51年(1976)



南海高野線狭山駅(西側から撮影) 昭和37年(1962)



ごあいさつ

大阪狭山市長

吉田 友好

このたび、第七回配本として『大阪狭山市史第四巻 史料編 近現代』を、皆さまにお届けできる運びとなりました。まことに喜ばしいことです。

本市では狭山村・狭山町の時代から、狭山の歴史を伝えるための史料調査・収集・

記録を続けてまいりました。市史の編さん事業はその意志を引き継ぐものであり、それを次代へと継承していくことが行政に課せられた重要な使命のひとつであると考え、現在に至っています。

『史料編 近現代』は、明治のはじめから本市の市制施行(昭和六二年)まで、およそ一二〇年間にわたる地域の主要な文献史料を、「I編 編年史料」「II編 主題別史料」の二つにわけて紹介しています。

これらの史料からは、まちの発展の歴史のみならず、狭山の先人の暮らしぶりまでもが、いきいきと伝わってきます。

本書を通じて、より多くの人びとが本市の歴史を認識し、郷土への関心と愛着を深め、「大阪狭山らしさ」を発見していただくきっかけとなれば幸いです。

大阪狭山市史 第四巻 史料編 近現代 目次

はじめに

—本書の特徴と近現代史料の概要—

I編 編年史料

- 第一章 幕末・維新期の狭山
- 第二章 新しい村の成立と明治後期の狭山
- 第三章 大正から昭和へ
- 第四章 日中戦争・アジア太平洋戦争と狭山
- 第五章 占領・復興と狭山
- 第六章 高度成長と市民生活の変容
- 第七章 大阪狭山市の誕生

II編 主題別史料

- 第一章 廃藩後の旧狭山藩士族
- 第二章 地主経営と農地改革
- 第三章 新興住宅地における住民活動

監修

栄原永遠男(大阪市立大学名誉教授)

編集

中塚 明(奈良女子大学名誉教授)

広川 禎秀(大阪市立大学名誉教授)

執筆

中塚 明(奈良女子大学名誉教授)

伊崎文彦(大阪狭山市教育委員会嘱託)

田中やよい(大阪市立大学大学院前期博士課程)

福島幸宏(京都府立総合資料館主任)

船勢 肇(大阪芸術大学・阪南大学非常勤講師)

本井優太郎(大阪大学大学院博士後期課程)



組見本



狭山池遊園のチラシ 昭和13年(1938)頃



日露戦争凱旋記念 明治39年(1906)